様式３(2015.06改)

作成日　令和　元　年　11 月　20 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100267
事業所名	グループホーム　咲花唐山

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板を回し地域との情報交換を行っている。施設の夏祭りのチラシを配布し、地域住民の参加が得られた。週に1回程、介護相談や施設見学で住民が来所する機会があり、時間を設け対応している。地域の清掃活動や子供獅子の祭り、ハロウィンでは近隣幼稚園との交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年6回実施しいきいき支援センター職員、近隣住民、協力歯科職員、利用者、利用者家族等の参加がある。スライドや写真で施設の運営状況等を報告し、活発に意見交換さている。会議時には、認知症サポーター養成講座や摂食、嚥下についての勉強会、また体操やレクのゲーム等、日頃の取り組みを一緒に行う事で、認知症ケアへの理解を深め、協働関係の構築に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区窓口には、何かあれば相談できる関係性を築いている。いきいき支援センターとは、入居の相談やボランティア要請の相談等、相互に協力しあう関係が築かれている。市町村主催の研修会に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	地域在住の家族が多いことから面会で頻回に顔を合わせ、その都度時間を設け意見や要望を聞いている。利用者や家族からの要望は職員間で周知、検討し、即座に対応する体制を整えている。必要時には手紙でお知らせを送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○